



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和5年度学校だより
No.13 2月号
令和6年2月1日(木)

今を変えれば未来が変わる

勝田全国マラソン開催・吹奏楽部の応援復活!!

令和6年1月28日(日)に、第71回勝田全国マラソン大会が実施されました。勝田マラソンと言えば、本校では以前から校門前で吹奏楽部が応援演奏をしてきましたが、今年は数年ぶりに、沿道を走るランナーを音楽の力で励ますことが出来ました。

現在の部員は10名です。今年度は、勝田マラソンの日に演奏することを大きな目標として日々の練習に励んできました。二人の保護者の方々にも御指導をいただいていたおかげで、本番までの残り一か月で格段に成長しました。

当日、出発の号砲が鳴り響いたあと約2時間以上が経過してから、先頭の選手が本校前を通過しましたが、実はこのほんの少し前に、大会の先導車が先に現れました。

「前渡小学校のみなさん、ありがとうございます。」

勝田マラソンの応援と言えば前渡小です…。といったアナウンスとともに近づき、そして通過していきました。部員たちは大いに励まされ、力が入り、演奏には熱い想いが籠もりました。

このあとランナーが次々と目の前を駆け抜けていきました。演奏を耳にしてガッツポーズをする人、手を振る人、拍手をする人、笑顔になる人、立ち止まって写真を撮っていく人、そして「ありがとう。元気をもらいました。」と走りながら感謝の言葉を発する人など、実に様々なランナーがいました。部員たちは「最後まであきらめないで」「元気を出して」「少しでも走るエネルギーになれば…」といった気持ちで曲を奏でていましたが、逆に走るランナーたちからも、たくさんの活力と喜び、そして思い出をいただくこととなりました。

一日が終わり、あらためて前渡小の一員であるからこそこの経験ができたことに感謝するとともに、歴史と伝統ある大会の一助となれていればと願うばかりです。



前渡小と『吹奏楽部』

燦然と輝く実績をもつ本校の吹奏楽部、果たしていつ頃その芽生えがあったのでしょうか。沿革誌を紐解くところまでは至りませんが、卒業アルバムをたどっていくと、1979年には「器楽合奏クラブ」、1982年には「合奏クラブ」、1983年には「器楽クラブ」、そして「管楽器クラブ」などと名称を変えつつも、遡ること40年以上前にはその原点のあったことが見てとれます。

そんな吹奏楽部も、今年度は、「全員で何とか二桁」の部員数となりました。3月末に6年生が卒業すると、残りは4人になります。

部員募集を停止して数年になりますが、聞けば勝田マラソン時の演奏は、ランナーを勇気づけるだけでなく、地域の多くの方々も演奏を聞きにこの地集ったそうです。かつての部員たちにとっても、1年間の中で最も楽しい活動として語り継がれているそうです。今後の吹奏楽部の活動については、近々あらためて話し合いの場を設ける予定です。

七福桜

1月22日(月)の朝、校庭に出てみると、大きな木の枝が地面に横たわっています。前日の夕方かなり強い風が吹き荒れましたが、あまりの風圧に耐え切れず、ポッキリと折れてしまったようです。



この苔むした枝は七福桜のもので、正確な樹齢は不明ですが、かなり前からたたずんでおられる本校の象徴的な存在です。もっと言えば、もしかしたら精霊が宿っておられるのではないかと思えるような雰囲気を感じさせています。

安全確保のために、七福桜には容易には近づけないように、これまでよりも一回り以上大きく、木の周囲にぐるりとロープを張りました。

今回のことが休日でもよかったなと思うとともに、身近なところに危険が潜んでいることに、あらためて気づくことが出来ました。

春に咲く満開の桜を待ちわびていますが、これからももっと長生きをしていただけるように、地域の皆様とともどもに、保存の在り方について考えられればと思い記事にした次第です。

◇ この日は、本校の卒業生である勝田三中の吹奏楽部の5名が、後輩たちを励ますために駆けつけてくれました。諸準備、片付け等にも協力をいただき、ありがとうございました。



前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に
 Key Word : 間が大事 笑顔さわやか わくわくと 宝は仲間 理想に向かって
 めざす学校像 : 黙って働き 読書に親しみ そして 時に歌を口ずさむ学校

「初めての書き初め」。小学生の学習には書写の時間があります。書写と一口に言っても「硬筆」と「毛筆」に分けられます。一般的には、習字や書道という多分毛筆を思い浮かべがちですが、筆と墨を使って書くのは小学3年生からです。1年生の書き初めは「お正月」。フェルトペンを手に持って、背筋を伸ばし、お手本をよく見て、一画一画丁寧に書きました。

3年生は、1月16日に県警、県庁、歴史館へ見学に行きました。県警では、通信指令室の様子を直に見たり、県庁では、県議会について学んだりしました。歴史館では、昔の道具や学校、家を見学し、昔の人々のくらしの様子を知ることができました。

それぞれの訪問地での説明は、みなどれも丁寧でした。とても多くのことを学び、充実した社会科見学でした。

最後の訪問地、歴史館で突然降った雪も、思い出に残る体験となりました。



1年生



2年生



4年生



3年生



5年生



6年生

6年1組を皮切りに、すべての学級へと順々に旅を始めた新品のグローブ、早くも5年生の手元にも届きました。待ちにまった大谷選手からのプレゼントに群がる男子たちです。女子もグローブを触りましたが、やはり男子の方が関心が高く、タブレットで写真を撮ったり、手にはめてしみじみと見たりと、いつまでも興味はつきない様子でした。今日現在、何年生の手元にグローブは届いているのでしょうか。次は、一巡した後には使い始める日が楽しみです。

1月16日(月)、大谷翔平選手のグローブが児童たちの手元へと届きました。

低学年用、高学年用、左利き用と三つのグローブがあり、それぞれには大谷選手のサインが書かれていました。

グローブは各クラス順番にまわしていくことになり、トップバッターは6年生です。中休み、子ども達はグローブの周りに集まり、思いおもいにグローブを触りました。グローブの軽さにびっくりする児童、エアキャッチボールをする児童など・・・、子ども達の笑顔がはじけていました。

1月11日・12日の二日間にわたって、4年生にとって初めての学力診断のためのテストが行われました。

教室の中は、鉛筆の音だけが響き渡り、緊迫感に包まれていました。

終了後、「終わった」と安心する子、友達と答えを確認し合っている子、「できなかった」と後悔する子など、いろいろな反応がありました。今回のテスト結果をもとに、少しでも苦手なところを克服できるようにして、5年生への準備をしていきます。